

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 1 月 19 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラの新設プロジェクト
排出削減事業者名	学校法人内田学園
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	七沢希望の丘初等学校 (神奈川県厚木市七沢 433-1)
事業の概要	教室等の冬季における暖房用の熱源として、木質バイオマスボイラ 1 台を新設導入する。木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO ₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、新設設備のボイラの燃料として灯油を利用した場合に比べて、CO ₂ 排出量を大幅に削減する。
排出削減量の計画	12tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 48tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 12 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001-A バイオマスを燃料とするボイラの新設

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業実施場所を訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：七沢希望の丘初等学校 (神奈川県厚木市七沢 433-1)</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 排出削減事業の投資回収年数は 97 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、担当者およびその他事業者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。</p> <p>3) 学校法人内田学園 七沢希望の丘初等学校は、木造建築の校舎で化石燃料を一切使用しない方針を掲げるなど、自然との共存や環境を重視した教育を実践している。こうした教育方針により、当初から木質バイオマスボイラーの導入を検討してきたが、事業の投資回収年数が97年と長く、投資決定には至らなかった。国内クレジット制度の活用により、環境への取り組みに対するアピール効果が期待できることが本事業への投資決定の重要な要因となった。</p> <p>4) 燃料となる木質バイオマスは、神奈川県西部地区の工事現場、街路樹、造園工事などから発生する剪定枝、伐採・伐根材をチップ化したものであり、国産材であり、かつ未利用のものである。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001-A に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>適用条件 1：現地視察、事業者への質問等により、バイオマスを主たる燃料とするボイラーが新設されたことを確認した。</p>

	<p>適用条件 2：バイオマスボイラ導入後の温水が、自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及び事業者への質問等によって確認している。</p> <p>2) ベースラインの設定について、灯油ボイラが選択されているが、事業実施場所近辺に都市ガス配管がないことから、業務用施設で一般的に導入されている灯油ボイラの選択は適切であると判断される。ベースラインシナリオの適切性について、現地視察、事業者への質問等によって確認している。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>特に当該事業で使用するバイオマス燃料の輸送等に係るリーケージ排出量については、本排出削減事業の排出削減量の 5%に満たないことを、排出削減事業者および燃料供給事業者への質問や、関連証憑等により確認している。</p>
--	---

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

該当なし。

以上